

令和3年度2月 定例教育委員会会議録

令和4年2月15日（火）

山梨市教育委員会

令和3年度2月 定例教育委員会 議事録

令和4年2月15日（火）午前10時から、山梨市役所 401 会議室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 議事
 - ① 新型コロナウイルス感染症について
 - ② 山梨市総合教育会議について
 - ③ 特色ある教育について
 - ④ 教育委員会の自己点検・評価について
 - ⑤ いじめの状況について
 - ⑥ その他
- 4 閉会

○出席者

教育長	澤田 隆雄
教育長職務代理者	矢野 眞由美
教育委員	佐野 千春
教育委員	武井 茂
教育委員	窪田 新治

○欠席者

なし

○事務局職員出席者

生涯学習課長	中村 直喜
学校教育課長	竹川 一郎
学校教育課 指導主事	岩下 秀人
学校教育課 学校教育担当リーダー	星野 正裕
学校教育課 学校総務担当リーダー	小池 かおり
学校教育課	小田切 咲紀

○議事録作成者

学校教育課	小田切 咲紀
-------	--------

3 議事の内容

司会 竹川課長

議事の進行を教育長お願いします。

教育長

議事に入らせていただきます。

(1) 新型コロナウイルス感染症について、事務局から説明をお願いします。

竹川課長 資料に基づき説明

- ・山梨県知事からの協力要請が2月20日まで延長された。
- ・児童生徒・教職員が陽性判明した際の対応、公表の基本方針について
- ・臨時休業の協議方法について
- ・タブレットを使った学習保障を始めている。
- ・学校職員の3回目ワクチン接種を優先的に行う。
- ・スキー教室は2月21日以降に延期した学校の他、数校が中止を決定した。

教育長

現在は午前中に受けたPCR検査の結果の連絡が夕方に届くような状況で、保健所による濃厚接触者の特定もその後夜遅くになってしまうことが多いです。そのため、陽性が判明した場合、今現在は夜7時を目途として学校医と相談した内容等をまちこみメールで保護者に連絡しています。

何かご質問はございますか。

佐野委員

中学生の子どもがいるため毎日のようにまちこみメールが来て気が気でなく、先生方も大変だと思っている。先日の臨時休業は前期入試の影響もあったのだろうと思っているが、中学3年生でコロナの影響で高校入試を受験できなかった生徒はいるのか。

教育長

公立高校の前期入試については、各学校の校長から連絡があり、南中46人、北中30人、笛川中10人程の全員が受験できたようです。私立高校は今がちょうど受験の時期で今後結果が出てくる予定です。あとは3月3日の公立高校後期入試ですが、それまでに3年生が感染しないように各学校でも慎重に対策を取っています。県教委もコロナに関わる入試のフォローを考えているようです。

佐野委員

今現在休業している学校はあるか。

教育長

今日はありません。

矢野委員

お願いになるが、コロナの対応について各学校から保護者にまちこみメールを送信しているとのことだが、教育委員にも連絡してもらえないか。地域の保護者と接する中で知らない情報が多く、教育委員が知っておくべき情報としてせめてまちこみメールと同程度の情報はほしい。

武井委員

昨年度はよく連絡があった。今年度は比較すると情報提供が少ないように感じる。あまりに詳細な情報は必要ないだろうと思うが、どの学校で臨時休業が行われるのかきちんと知っておきたい。

竹川課長

情報共有が遅れており申し訳ありません。今後はショートメール等で連絡をさせていただきます。

武井委員

児童生徒や学校職員もかなりかかっているのか。

竹川課長

1月21日から昨日までのおよそ1ヶ月で68件の陽性報告がありました。

教育長

学校でクラスターが発生した例はなく、家庭で家族から感染したり共通の塾を通して感染したりという例が多いです。対応の仕方も固まってきましたので、このような方針でやっていきたいと思えます。

教育長

次に(2)山梨市総合教育会議について、事務局から説明をお願いします。

星野リーダー 資料に基づき説明

教育長

議題の一つ目、本市の特色ある教育については、令和3年1月に文科省から「令和の日本型学校教育」について答申が出されたことを受けて、市長から本市の特色ある教育を可視化するよう指示を受けて委員会を立ち上げて取り組んできました。教育委員会としては新しいものを始めるのではなく、今まで行ってきた特色ある活動をさらに発展・改善していきたいと思っています。

併せて(3)特色ある教育について、事務局から説明をお願いします。

岩下指導主事 資料に基づき説明

・マラソン・持久走大会、強歩大会は県内でも珍しく、特にこの地域で特色ある教育と言える。

・学級力向上プロジェクトは県内で本市が一番率先して始めた事業であり、今年度は推奨者である早稲田大学田中教授を招いての講演していただいた。来年度も指導を依頼している。

教育長

実現すべき特色ある教育について5つの柱を立てました。さらに詳しく説明がほしいものはありますか。

窪田委員

総合教育会議ではどのような点を市長に訴えていくのが良いのか。

岩下指導主事

どの取り組みにも予算が不可欠です。例えば、議題の二つ目、特性を持つ児童・生徒への対応についても関わりますが、特別支援教育では、各校に特別支援員が配置されていますが状況によってはかなり人手が厳しく、人数増を考えていくことになると思います。また、講師の招待でも講師料が必要ですし、どの取り組みもより充実させていくために予算が必要になります。

竹川課長

特色ある教育の取り組みは市長から指示を受けて始まったものですが、現場の負担や予算を考えて新規の取り組みを始めるのではなく、既存の取り組みを推し進めていくほうがよいとの意見を委員の皆さんや学校現場からいただいていますので、そのような点を伝えていただければと思います。

武井委員

新たな取り組みをするには基本的に予算的措置が必要だということは訴えたい。また、コロナ禍では英語教育での対話的な学習などが難しくなっていると思う。今も行われているのか。

岩下指導主事

近くで向かい合って会話することはできていませんが、マスクをして距離を取って行っています。

武井委員

以前はいろいろな場面設定で学習できたが、集団活動が制限されている今は、学校で特色ある取り組みとして共同的な作業をすることが少なくなっている。コロナ禍では子どもたちの学び合いや高め合う活動は難しくなっていると思うが、地域と

のつながりや授業の充実をこれからどうしていくか探っていけないだろう。コミュニティスクールでも地域と共同で広く作業をしていくことになるが、今は大変なのではないか。そういう点をどう考えていくかだ。

山梨市として目玉となるような画期的な取り組みをしたいという意図はわかるが、一朝一夕にできるものでなく学校現場もコロナ禍で非常に悩んでいる。市として取り組みに人員の補助や予算が与えられるなら話は別だが、独自に生み出すというのは今の現場では困難だ。

矢野委員

他市と比較して本市をアピールしたいという気持ちはわかる。新聞などで取り上げられると良いと思うが。

竹川課長

今年度はコロナでイベントが中止となったり、本市で先進的に始めた英語教育も今では当たり前のことになっていたり、目につく報道は難しくなっています。

総合教育会議の資料について補足ですが、(2)特性と持つ児童・生徒への対応については、近年特別支援学級の児童生徒数が増加しており支援員を資料のように配置しているという説明をします。総合教育会議は市長が主催し、教育委員の意見を聞くための会ですので、皆さんには現状の説明を受けた上での意見を言っていただきたいと思います。

教育長

全体の子どもの数は減っていますが特別支援教育を必要とする子どもの数は増えており、11校35学級という状況です。全県でも新たに50学級増えているそうで、教員の不足が心配です。学級によっては他学年合同の複式学級になっていて大変な状況であることも訴えていただければと思います。

窪田委員

小学校で3学年以上一緒にいる学級はどのくらいあるか。

竹川課長

加納岩小や日下部小など9学級あります。また、支援員は小中で合計23.5人配置されており、難聴、病弱・身体虚弱、肢体不自由学級は1対1ですが、それ以外は複数対1になっています。

武井委員

(3)不登校児童・生徒の現状についての資料を見ると、山梨北中の1年生の生徒が多いように感じる。

教育長

2学期の学園祭後、11月頃から増えてきました。

岩下指導主事

特に冬休み明けに4、5名増えています。元は病欠等がきっかけで不登校に転じてしまった子もいます。

教育長

家庭内に課題があって子どもが学校に行きたくなくなり、数日休んでいるうちに不登校の指標である15日を超えてしまうという場合が多いです。家庭の問題が解決しないと小中学生の子どもたちはなかなか精神的に立ち直れません。学校に行きたくないという理由以外にも、行きたいけれどいろいろな事情で足が向かなくなっている子どもたちもいます。全体的に昨年度より少なくなっていますが、今後どう推移していくかということと、小学生の不登校者数が増えてきたことを心配しています。

岩下指導主事

全県では昨年が小中学校合わせて1,303人でしたが、今年度は1月末現在ですでに1,300人を超えていますのでこのまま行くと小中合わせて1,400人くらいになると思われます。

矢野委員

不登校対策ではどのような対策をしていくのがよいか。

竹川課長

一昨年頃から対策を始め、各学校でのリスト化や小中学校の連携を深めるなど取り組んでいます。今年度で2年目を迎え、本市では若干減少傾向になってきました。県の適応指導教室がなくなるため本市でも教育支援センターを11月から試行し、併せて教育相談を始めています。そのような取り組みを来年度以降も強化させていくことやSCやSSWとの連携が必要だと思っています。

教育長

次に(4)教育委員会の自己点検・評価について、事務局から説明をお願いします。

小田切 資料に基づき説明

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、令和3年度の教育委員会の活動に対する点検及び評価をこの場でお願いしたい。

教育長

教育委員会の活動に対する6項目の点検・評価を委員の皆さんと行いたいと思います。

教育委員 資料に基づき点検・評価

教育長

次に（5）いじめの状況について、事務局から説明をお願いします。

岩下指導主事 資料に基づき説明

- ・令和3年度2学期末の諸問題調査の結果から、本市のいじめに関する状況を抜粋。
- ・一学期から継続しているものが数件あり、各校の生徒指導の先生を中心に解消に向け取り組んでいく。

教育長

いじめの発見は本市で年3回行っているアンケート調査で発見することが多くなっています。これにつきまして、何かありますか。

窪田委員

学校内にいじめの対応組織や窓口になる教師はきちんと作られているか。管理職だけが承知しているのではなく、職員全体や保護者にもわかる形で整備しておくことが必要だ。もし何かこじれたり重大事態に繋がることが出たりしたときに、法的にもしっかりと作っておかなければならない。いじめの対応が窓口を通して一本化されていれば、これは担任が対応できるとか、これはチームで対応しようとか集計できる。数が多くて大変だとは思いますが形として整備しておくことが大事だ。本市の現状はどうか。

岩下指導主事

明後日いじめ問題対策会議の事務局会議が開催され、生徒指導の先生に集まっていただきます。各校の資料によると組織は作られていますが、窪田委員のおっしゃるような窓口となる担当が明確にされているかどうかは確認が必要だと思いましたので、明日の校長会、明後日の事務局会議で伝えたいと思います。

窪田委員

おそらく生徒指導担当の先生が担当になっていると思うが、そこを明確にしておくことが良いと思う。

教育長

市のホームページで各学校の情報を掲載しているページに、いじめ対策担当の情報も載っていますか。

岩下指導主事

各校のいじめ防止対策基本方針が載っており、その中に組織についても書かれています。

教育長

実際に上手く運営がされているかが一番心配です。今までには上手くできずに重大事態に発展した例もありましたので、しっかりと確認したいと思います。

教育長

次に（6）その他、事務局から何かありますか。

事務局

ありません。

教育長

以上で議事を終了します。

議事終了